

借地権以外の権利の申告書（表）

年 月 日

権 利 者	住 所	
	ふりがな	
	氏 名	(印)
土地所有者に はる権利の 係目的で 権利所有者	住 所	
	ふりがな	
	氏 名	(印)

荒尾都市計画事業南新地土地区画整理事業

施行者 荒尾市

代表者 荒尾市長 様

次表の土地の^{全部}平方メートルについての下記の内容の 権
を有することを申告します。

年 月 日土地登記簿記載事項						記事
大字	地番	地目	地 積	摘 要	土地所有者の 住所氏名	
			m ²			

記

1 権利部分の位置見取図

2 添付する権利の証する書類の名称

3 その他参考となる事項

この申告書記載のとおり権利の転貸を認めます。

土地所有者 住 所

ふりがな
氏 名

(印)

借地権以外の権利の申告書（裏）

- (注) 1 土地所有者又は申告に係る権利の目的である権利所有者が連署せず、当該権利を証する書面を添えて申告する場合には、「土地所有者又は申告に係る権利の目的である権利所有者」欄は、記載しないでください。
- 2 「土地所有者又は申告に係る権利の目的である権利所有者」欄は、「土地所有者」及び「申告に係る権利の目的である権利所有者」のうち連署しない一方を消してください。
- 3 権利者、土地所有者又は申告に係る権利の目的である権利所有者が法人である場合においては、「住所」欄にはその法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄にはその法人の名称を、「所有者の住所及び氏名」欄には土地所有者である法人の主たる事務所の所在地及び名称を記載してください。
- 4 土地が土地区画整理法第 100 条の 2 の規定により施行者が管理する宅地（保留地予定地等）又はその部分である場合においては、土地登記簿記載事項の表中「記事」欄にその旨を記載し、同表中「記事」欄以外の欄は記載しないことができます。

4 の「記事」欄記載例

保留地予定地 12 街区 10 画地 230.50 平方メートル

※必要に応じて権利内容を以下により追加記載

・「抵当権の内容については別添のとおり」

または「具体的に記載」

5 位置見取図についての注意

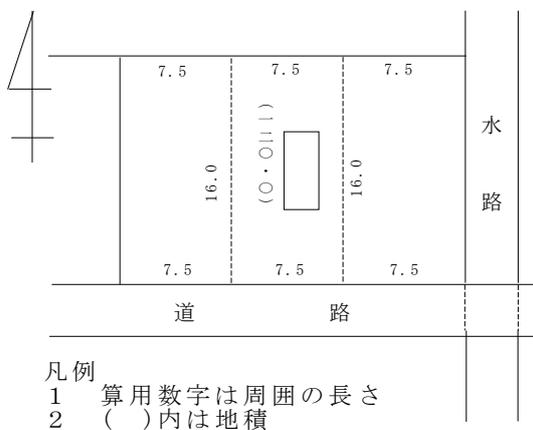
- (1) 申告される権利が一筆の土地の全部のときは、位置見取図に記載する必要はありません。
- (2) 申告される権利が一筆の土地の一部であるときは、その権利の目的となっている部分の位置を明らかにするため、次のことを位置見取図に記載してください。
- イ 権利の目的となっている土地の一筆全部と、これに接する道路、水路等
- ロ 権利の目的となっている部分の周囲の長さ、地番界からの長さ
- ハ 権利の目的となっている部分に建物、工作物等があるときは、大体の位置及びその形
- (3) 申告される権利が同一土地所有者の連続する二筆以上の土地にまたがる場合は、各筆ごとにその権利の目的となっている部分を明らかにするため、次のことを位置見取図に記載してください。
- イ 権利の目的となっている連続する土地の全部の筆とこれに接する道路、水路等
- ロ 各筆の地番界を明らかにし、各筆ごとの権利部分の周囲の長さ、地積及び地番界からの長さ
- ハ 権利の目的となっている部分に建物、工作物等があるときは、大

体の位置及びその形

(4) 図面には、必ず方位を入れてください。

- 6 土地所有者又は申告に係る権利の目的である権利所有者の連署が得られず、権利を証する書面を添付するときは、その書面の名称（確定判決書、和解調書、調停調書、示談書、領収書等）を書き入れてください。
- 7 転借の場合は、土地所有者の署名、押印が必要です。
- 8 この書類を提出するときは、連署した者全員の印鑑登録証明書（発行の日から3か月以内のもの）を添付してください。
- 9 記載に際しては、必ず墨又はインクを使用してください。

5-(2)の記載例



5-(3)の記載例

